

平成31年度

ながさきの農林業

農林業・農山村全体の所得向上と
地域の活力と魅力にあふれる農山村づくりのために

長崎県農林部

目次

1. 本県の概要	1
----------	---

2. 全国的にみた長崎県農業の地位	2
-------------------	---

3. 本県農林業の概要	3
-------------	---

農業

(1) 立地条件	3
----------	---

(2) 農家	3
--------	---

(3) 農業就業者	4
-----------	---

(4) 耕地面積	4
----------	---

(5) 主要農畜産物の生産状況	5
-----------------	---

(6) 農業経営	6
----------	---

(7) 農業産出額	6
-----------	---

(8) 各地域における主な農林畜産物	7
--------------------	---

(9) 主要農産物の栽培こよみ	8
-----------------	---

林業	9
----	---

4. 「新ながさき農林業・農山村活性化計画」の概要	10
---------------------------	----

5. 農林関係行政機構図	11
--------------	----

1. 本県の概要

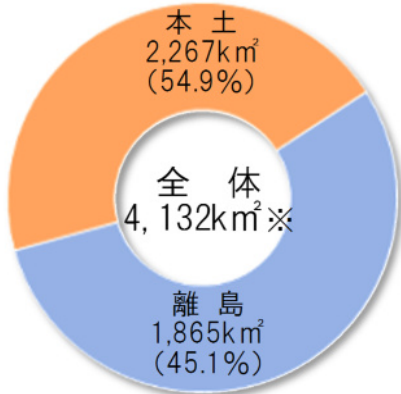
長崎県は九州の西北部に位置し、県土は離島・半島地域が大部分を占めていることから、平坦地に乏しく、海岸線の延長は北海道につき全国第2位の長さを示している。

【主要指標】

県 域	東西213km 南北307km	
県 土 面 積	4,130.88km ² (H29.10.1)	
総 人 口 (H28.10.1)	1,366,514人	男 641,579人 女 724,935人
総世帯数 (H28.10.1)	562,887世帯	
県内総生産	4兆3,822億円 (平成27年度)	
県 民 所 得	2,388千円/人 (平成27年度) 3兆2,881億円	

※長崎県異動人口調査、全国市区町村別面積調、県民経済計算

【市 町】 13市8町 (H30. 3. 31現在)



※「全体」：H27年全国都道府県市区町村別面積調
「離島」：第63版長崎県統計年鑑 H27.10.1現在

○島の総数 594 (H27.10)

人のいる島 72

人のいない島 522

○海岸線延長 4,183km (H28.3)

※国土交通省 海岸統計

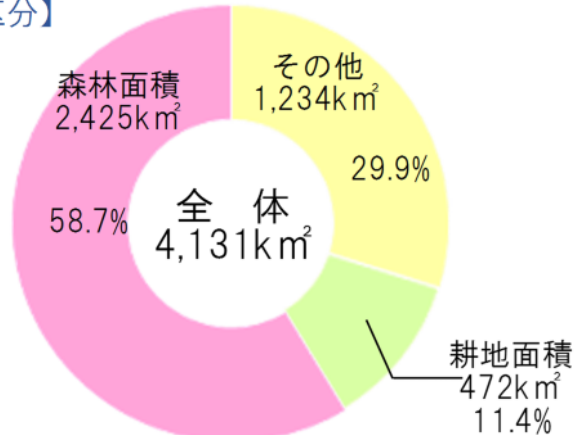


利用が進む肉用牛の放牧



諫早湾干拓でのレタスの収穫風景

【面積区分】



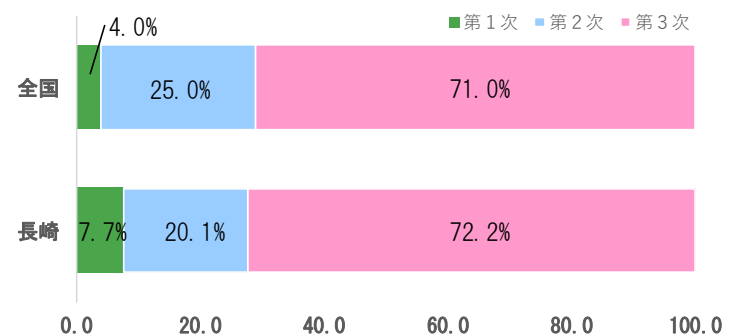
※「全体」：国土地理院 H29年全国都道府県市区町村別面積調べ
「耕地面積」：H29年耕地面積及び付付面積統計
「森林面積」：長崎県の森林・林業統計

【気 象】

	平均気温 (°C)	年間日照時間 (時間)	年間降水量 (mm)
長 崎	17.2 (17.5)	1,866.1 (1,844.7)	1,857.7 (2,083.6)
佐世保	17.0 (17.4)	1,907.4 (1,954.1)	1,949.7 (2,145.2)
雲 仙	12.8 (13.1)	1,444.6 (1,433.3)	2,899.4 (3,291.5)
平 戸	16.1 (16.5)	1,783.8 (1,785.4)	2,109.3 (2,355.2)
福 江	16.8 (17.0)	1,756.1 (1,742.8)	2,335.8 (2,295.5)
厳 原	15.8 (16.2)	1,860.8 (1,901.5)	2,235.2 (2,366.7)

※長崎地方気象台各測候所調べ
(1981から2010年の30年間の平均)
下段()書は近年5ヵ年の平均(2014~2018)

【産業別人口】 総就業人口 644,154人



※平成27年国勢調査抽出速報集計結果

※割合は分類不能を除外して算定

2. 全国的にみた長崎県農業の地位

本県農業の全国的な地位をみたものが下の表です。
平成 29 年の農業産出額は 1,632 億円で全国第 22 位
となっています。

主要品目を都道府県別順位で見ると、びわ、ばれいしよ、にんじん、たまねぎ、はくさい、いちご、アスパラガス、きく、みかん、肉用牛など 23 品目が産出額で上位 10 位以内に位置しています。



2年連続（H29、30年度）全国品評会で日本一を獲得した長崎玉緑茶

【主要指標の全国的地位】

	項 目	本 県	全 国	全国対比		農林業センサス (H22)
				比較 (%)	順位 (位)	
農 業	1.総農家数 (H27)	(戸) 33,802	2,155,082	1.6	30	38,745
	2.販売農家数 (H27)	(戸) 21,304	1,329,591	1.6	28	24,887
	主業農家数	(戸) 6,620	293,928	2.3	22	7,901
	準主業農家数	(戸) 4,307	257,041	1.7	22	6,041
	副業的農家数	(戸) 10,377	778,622	1.3	36	10,945
農 業	3.自給的農家数 (H27)	(戸) 12,498	825,491	1.5	33	13,858
	4.農業就業人口 (H27)	(人) 34,440	2,096,662	1.6	28	40,936
	5.認定農業者数 (H29.3月末)	(人) 5,745	242,304	2.4	17	※ 6,301
農 地	6.耕地面積 (H29)	(ha) 47,200	4,444,000	1.1	32	※H22.3月末 市町報告
	田 (〃)	(ha) 21,600	2,418,000	0.9	38	
	畑 (〃)	(ha) 25,600	2,026,000	1.3	18	
	1戸当たり耕地面積 (〃)	(ha) 1.40	2.06	68.0	23	
	7.耕地利用率 (H29)	(%) 96.7	91.7	105.5	7	
農 業 生 産	8.農業産出額 (H29)	(億円) 1,632	92,742	1.8	22	
	9.生産農業所得 (〃)	(億円) 626	37,616	1.7	22	
	生産農業所得率 (〃)	(%) 38.4	40.6	—	31	

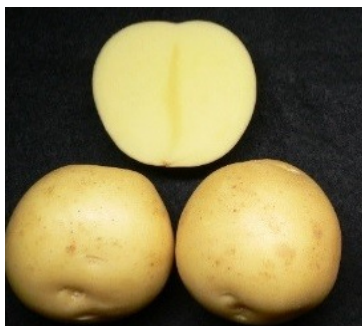
※2015年農林業センサス、耕地及び作付面積統計、生産農業所得統計

【農業産出額の全国トップ10に入る品目】(平成 29 年)

品目名	農業産出額 (億円)	全国順位	品目名	農業産出額 (億円)	全国順位
肉用牛	241	7	アスパラガス	20	5
みかん	129	6	洋ラン (鉢)	14	9
ばれいしよ	110	3	びわ	11	1
いちご	101	5	かぼちゃ	8	9
レタス	58	6	カーネーション	7	6
だいこん	46	7	さやえんどう (未成熟)	6	9
にんじん	43	4	しょうが	4	10
葉たばこ	38	5	しらぬい (デコボン)	4	7
きく	34	5	にがうり	3	6
たまねぎ	31	4	そらまめ (未成熟)	2	5
ブロッコリー	26	7	ガーベラ	2	6
はくさい	24	4			



いちご多収性品種「ゆめのか」



病虫害に強い多収性品種「アイマサリ」



第 11 回全国和牛能力共進会で特別賞「交雑脂肪の形状賞」を受賞した「長崎和牛」

3. 本県農林業の概要

農 業

1 立地条件

本県は、多くの離島（県土の45%）や半島から成り立ち、地形は複雑で、急傾斜が多く、耕地条件に恵まれていない。

年間平均気温は約13~18℃、年間降水量は約1,900~3,000mmと温暖多雨であるが、大消費地から遠隔地にあり、地理的・地形的な条件には恵まれていない。

しかし、県内各地では、地形・天候等の地域の特性を生かした多様な農林業の生産が展開されている。



高品質びわ「なつたより」

2 農家（平成29年）

（※2015年農林業センサス）

本県の総農家数は33,802戸で、このうち販売農家は、21,304戸、自給的農家は12,498戸である。

販売農家は総農家の63%を占め、そのうち主業農家は6,620戸で販売農家の31%に当たる。

なお、認定農業者制度による認定は、平成30年3月末現在、21市町で5,648戸経営体（うち法人352）となっている。

総農家数 33,802戸（※県全体の6.0%）
 販売農家数 21,304戸
 主業農家数 6,620戸（販売農家数の31%）
 準主業農家数 4,307戸（＼の20%）
 副業的農家数 10,377戸（＼の49%）

※総世帯数（H27.10.1現在）560,720戸

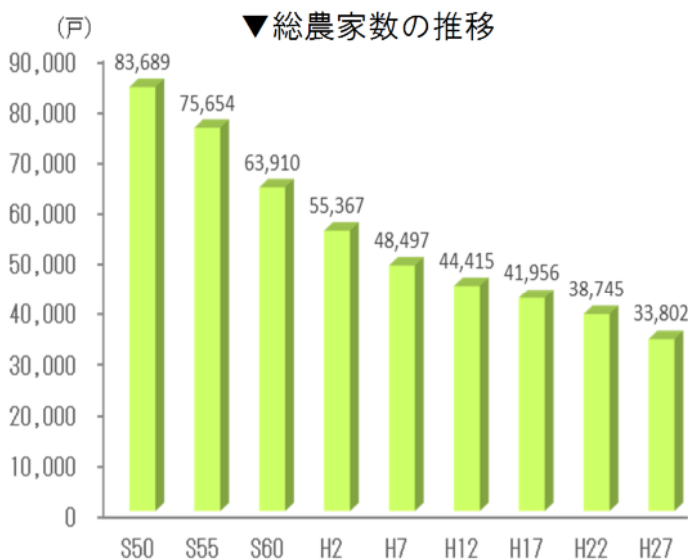
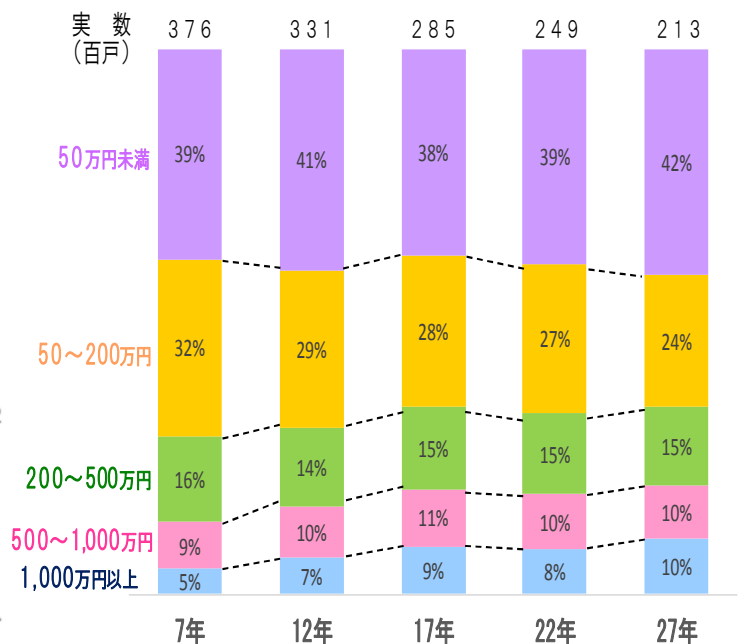
「販売農家」：経営耕地面積が30a以上又は農産物販売額50万円以上の農家

「主業農家」：農業所得が主で、65歳未満の農業従事日数が60日以上の方がいる農家

「準主業農家」：農外所得が主で、65歳未満の農業従事日数が60日以上の方がいる農家

「副業的農家」：主業、準主業農家以外の農家

▼販売規模別農家数の割合（販売農家）



※農林業センサス

3 農業就業者

(※2015年農林業センサス)

農業就業人口は、高齢化が進行し、65歳以上が57.7%となっており、担い手の確保が大きな課題となっている。

農業従事者数(販売農家) 53,966人
 農業就業人口() 34,440人
 うち65歳以上 19,889人(57.7%)
 全国63.5%

基幹的農業従事者数(販売農家) 31,719人
 うち65歳以上 18,190人(57.3%)
 全国64.6%

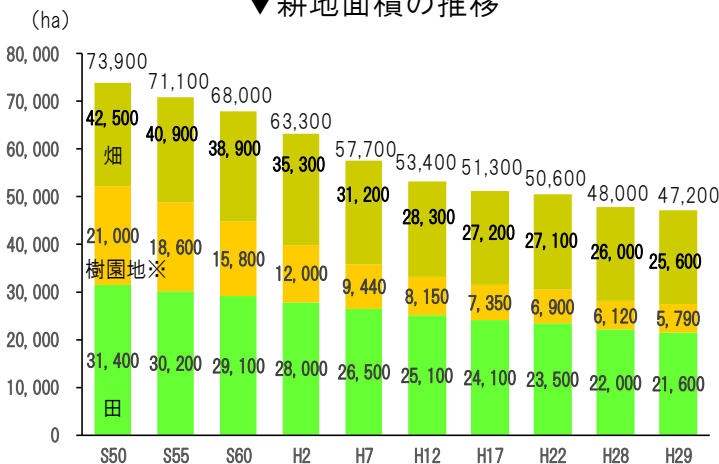
新規自営就農者(平成29年) 243人

【新規自営就農者(15歳以上65歳未満)の推移】

年度	新規学卒就農				リターン等	合計
	農高卒	農大卒	その他	小計		
H20	17	15	26	58	88	146
H21	13	14	37	64	51	115
H22	3	11	19	33	66	99
H23	10	17	31	58	108	166
H24	7	15	24	46	128	174
H25	6	16	20	42	133	175
H26	9	21	19	49	134	183
H27	15	15	22	52	111	163
H28	12	19	17	48	159	207
H29	14	13	13	40	203	243

※農業経営課調べ

▼耕地面積の推移



※樹園値は畑の内数、耕地及び作付面積統計

「農業就業人口」

「農業のみに従事した世帯員」及び「兼業農家のうち農業従事日数の方が多い世帯員」

「基幹的農業従事者」:

農業を主として従事した世帯員(農業就業人口)のうち、ふだんの主な状態が「仕事に従事していた者」

4 耕地面積(平成29年)

本県の耕地率は11.4%で、耕地面積は47,200haで畑面積の比率が大きく、耕地利用率は96.8%となっている。

傾斜度別の耕地(農振農用地)は、水田1/20以上48%、畑15度以上9%と急傾斜の比率が全国(水田1/20以上14%、畑15度以上4%)に比較して著しく高く、小規模団地を形成している。このため、区画整理の整備率は平成29年度末で水田56.8%、畑25.5%と遅れている。1戸あたり耕地面積は、1.40haと小規模である。

耕地面積 47,200ha
 田 21,600ha (45.8%)
 畑 25,600ha (54.2%)
 うち普通畑 19,300ha
 うち樹園地 5,970ha
 うち牧草地 300ha



農地整備事業 有喜南部地区(整備前)



農地整備事業 有喜南部地区(整備後)

5 主要農畜産物の生産状況

本県の変化に富んだ地形、自然条件を活かした多種、多様な農産物が生産されている。販売規模別農家は、1,000万円以上の農家が増加傾向にある。

【主要農畜産物の生産状況】

(単位：ha, 千本, 頭, 千羽, 億円)

品名	栽培面積等		出荷量等 (H29)	産出額 (H29)	
	H19	H29			
水稲	14,600	11,600	57,400	131	
小麦	828	535	1,490	1	
大豆	473	449	525	1	
温州みかん	3,800	3,060	47,000	129	
びわ	610	446	919	11	
なし	82	65	702	2	
その他の果樹	1,188	-	-	-	
計	5,680	-	-	-	
きゅうり	132	134	6,440	17	
トマト	169	174	11,300	45	
いちご	294	268	9,340	101	
すいか	300	248	6,830	13	
キャベツ	358	468	10,600	11	
アスパラガス	146	129	1,740	20	
はくさい	384	356	19,700	24	
レタス	758	959	28,600	58	
ばれいしょ	4,100	3,640	77,400	110	
たまねぎ	558	782	24,000	31	
だいこん	730	753	47,700	46	
にんじん	759	851	28,300	43	
かぼちゃ	407	509	3,870	8	
ブロッコリー	380	737	6,230	26	
その他の野菜	1,925	-	-	-	
計	11,400	-	-	-	
切花類	きく	120	170	62,100	34
	カーネーション	22	17	15,000	7
	その他の切花類	130	132	26,700	-
	小計	272	319	103,800	-
畜産	飼養頭数等		出荷量		
	乳用牛	11,800	8,010	50,607(t)	生乳 54
	肉用牛	91,000	77,000	18,435	241
	豚	212,100	183,200		123
	採卵鶏	2,100	1,815	29,630	鶏卵 59
ブロイラー	1,886	2,533	11,397	62	

(資料)

「野菜」：平成19・29年産野菜生産出荷統計

「花き」：平成19・29年産花き生産出荷統計

「果樹」：平成19・29年産果樹生産出荷統計

「畜産」：乳用牛、肉用牛、豚、採卵鶏、ブロイラー

：平成19・29年産畜産統計

「畜産」：乳用牛：出荷量は平成29年牛乳製品統計

「畜産」：肉用牛(子牛)：出荷量は畜産課調べ

「畜産」：採卵鶏、ブロイラー：出荷量は平成29年畜産物流通統計



肉質・肉量ともに高能力の次世代を担う
県有種雄牛「弁慶3」



させぼ温州「出島の華」



高温耐性優良品種
「なつほのか」



長崎ラベンダー育成品種「しずか」



産地が拡大している加工・業務用たまねぎ

6 農業経営（平成28年）

本県認定農業者の1経営体当たりの農業所得は、4,776千円で、全国の主業農家平均の74%。

	全国		長崎県
	販売農家	主業農家	認定農業者
農業所得(千円)	1,851	6,492	4,776

※H28年農業経営統計調査、県農業経営課調べ

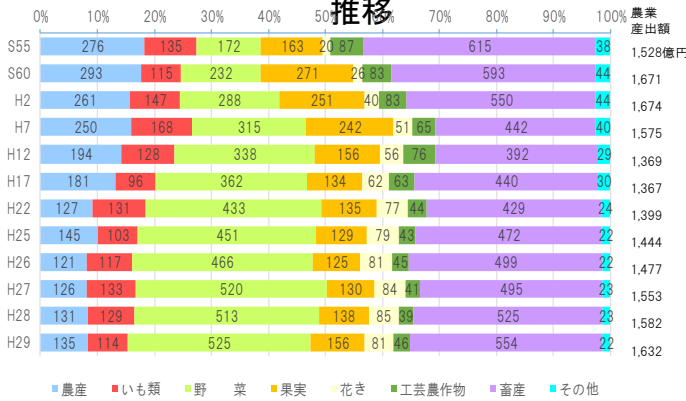


九州沖縄地区青年農業者会議での本県受賞者

7 農業産出額（平成29年）

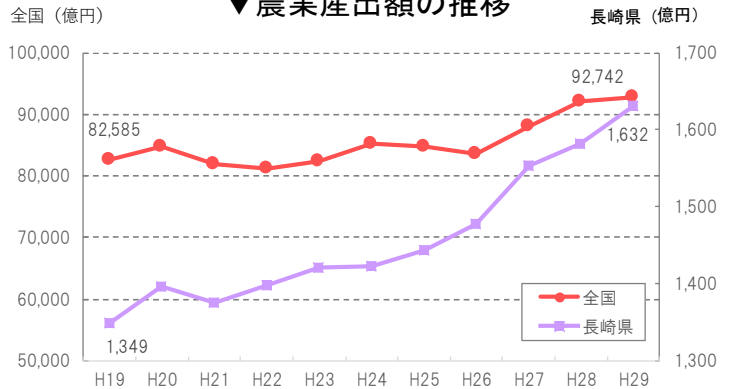
農業産出額は1,632億円で8年連続増加している。部門別では、野菜の伸びが大きくなっている。

▼農業産出額部門別構成割合の推移



※生産農業所得統計

▼農業産出額の推移



8 食料自給率

本県の食料自給率は生産額ベースで142%、カロリーベースで45%と全国よりも高い。

食料自給率(%)	長崎県	全国
生産額ベース	142	67
カロリーベース	45	38

※H28年食糧需給表(国:確定値、長崎県:概算値)

▼農業産出額部門別順位

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
H2	米 238	みかん 189	肉用牛 180	豚 171	ばれいしょ 132	鶏卵 71	葉たばこ 70	牛乳 69	いちご 60	プロイラー 42
H7	米 236	みかん 189	肉用牛 163	ばれいしょ 153	豚 111	いちご 95	生乳 70	鶏卵 63	葉たばこ 52	びわ 29
H12	米 179	肉用牛 155	ばれいしょ 110	いちご 106	みかん 103	豚 97	葉たばこ 62	生乳 57	鶏卵 54	トマト 33
H17	肉用牛 191	米 169	豚 109	いちご 98	ばれいしょ 88	みかん 88	生乳 55	葉たばこ 51	鶏卵 47	トマト 34
H22	肉用牛 174	ばれいしょ 124	米 121	豚 114	みかん 87	いちご 85	生乳 52	鶏卵 46	トマト 38	きく 35
H26	肉用牛 202	豚 137	米 117	ばれいしょ 111	いちご 96	みかん 80	生乳 53	鶏卵 51	プロイラー 47	トマト 41
H27	肉用牛 198	ばれいしょ 128	米 122	豚 122	いちご 111	みかん 86	鶏卵 57	生乳 56	トマト 55	プロイラー 51
H28	肉用牛 234	米 127	ばれいしょ 123	豚 118	みかん 105	いちご 103	鶏卵 58	生乳 54	トマト 51	プロイラー 50
H29	肉用牛 241	米 131	みかん 129	豚 123	ばれいしょ 110	いちご 101	プロイラー 62	鶏卵 59	レタス 58	生乳 54

長崎が美味しい理由

長崎県下、各地で彩り豊かに育まれた農産品・畜産品
長崎ならではの食材で広がる食の楽しさをご堪能下さい。

理由 1
太陽の光をたっぷり浴びる「急斜面の耕地」

日本列島の最西端に位置する長崎は、水平線に夕日が沈むまでたっぷり太陽の光を浴びることが出来ます。海岸線に広がる急斜面で育てられた果実を潮風とともに、海面から反射する光が、もうひとつの太陽となって果実を包み込みさらにおいしい「めぐみ」を育んでくれます。

理由 2

自然の力を引き出す「徹底した土づくり」
安全・安心で美味しい農産物栽培のために、有機質を主体とした施肥や緑肥のすき込み等の環境に配慮した土づくりを進めています。

理由 3

潮風を受けて育つ「ミネラルたっぷりの牧草」
長崎県産の肉牛は、潮風を受けたミネラルたっぷりの牧草を食べて育ちます。だから健康で肉質の良さは抜群。長崎の豊かな自然環境がおいしいお肉を育てています。

理由 4

人々の創意工夫が活きる「伝統の技」
長崎県にもたらされた様々な地域からの文化は、そこに住む人々の創意工夫によって独自の変化を遂げ、新しい文化となって開花しました。長崎にはそんな歴史を物語る伝統の技があります。

理由 5

海外との交流の歴史が生み出した「異国の味わい」
アジア大陸との交流拠点として、また鎖国時代は西洋に開かれたわが国唯一の窓口として様々な異国文化を受け入れてきた長崎。長崎の「めぐみ」には、海外との長い交流の歴史に育まれた「異国の味わい」がしっかりと息づいています。



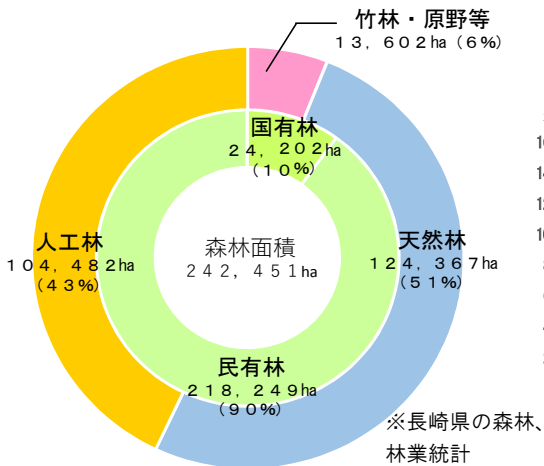
『唐蘭館絵巻』(所蔵/長崎歴史文化博物館)

林業

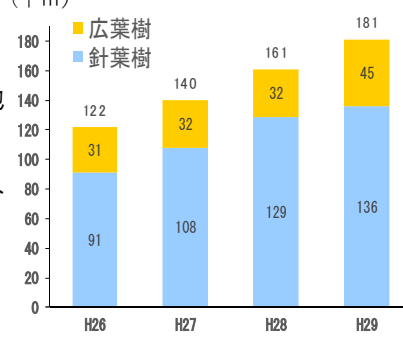
1 森林面積

本県の森林面積(H29)は 242 千 ha で、総土地面積の 59%を占めている。このうち民有林は、218 千 ha で、森林面積の 90%に相当する。人工林は、全体の約 43%でほとんどがスギ、ヒノキの針葉樹となっている。

▼長崎県森林面積（平成 29 年度）

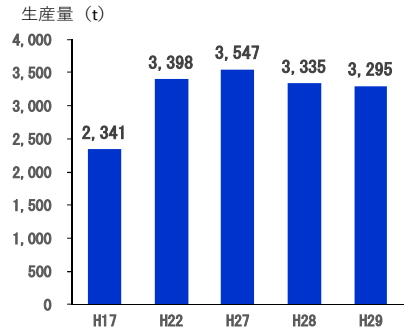
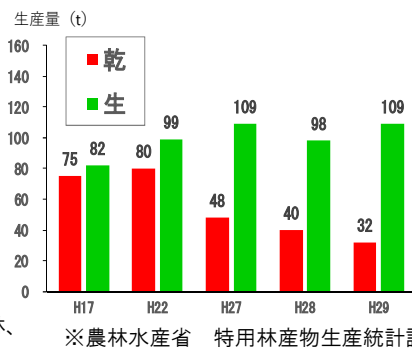


▼素材生産量の推移



しいたけほだ場

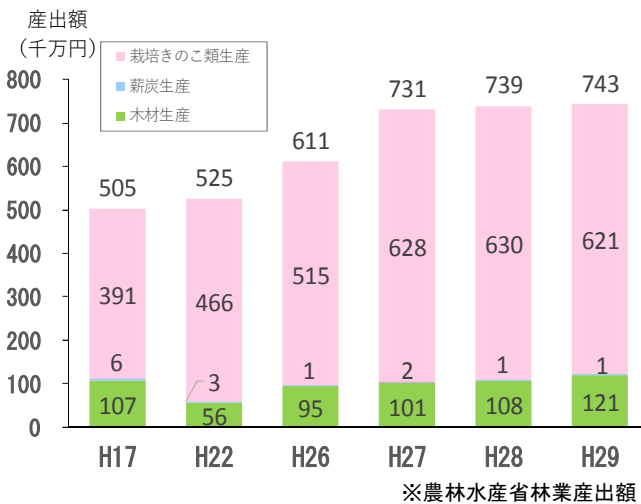
▼原木しいたけの生産量の推移 ▼菌床生しいたけ生産量の推移



2 林産物

平成 29 年の林業産出額は 74.3 億円となっており、近年、きのこ類の伸びが大きくなっている。

▼林業産出額の推移



平成 29 年の素材生産量は、181 千 m³で前年比 112%となっている。本県の代表的林産物の原木乾しいたけは平成 29 年に 32 t 生産され全国 8 位にランキングされている。また、菌床しいたけについては、平成 29 年、3,295 t で全国第 6 位となっている。

3 森林整備

平成 32 年度の森林整備目標は搬出間伐面積 2,000ha、木材素材生産量 20 万 m³を目指している。

平成 29 年度の搬出間伐面積 1,776ha、伐捨間伐 374ha であり、伐捨から搬出へ間伐の形態がシフトしてきている。



高性能林業機械による造材作業

4 路網整備

木材の生産性の向上と作業の低コスト化及び森林の総合的利用を推進するため、林道等路網の整備を進めている。

平成 29 年度末における林道密度は森林 1 ha 当たり 6.2m である。平成 37 年度までに 7.7m を目標に整備を進めている。

また、森林作業道は平成 29 年度、274km 開設するなど、森林環境税活用による補助制度の充実により、積極的な整備が進んでいる。

4. 「新ながさき農林業・農山村活性化計画」の概要

1. 農林業・農山村の将来の姿

農業

農家戸数並びに農業就業人口の減少が避けられない状況の中、経営耕地面積の約8割を認定農業者や認定新規就農者、集落営農組織などの『産業の担い手』が担う一方で、中山間地域等産地規模の拡大が難しい地域や担い手不在地域においては、集落等をサポートする組織『地域の担い手』が各地域で拡大される農業構造を目指します。

<農業所得>

認定農業者の平均農業所得を600万円まで引き上げる。

<産業の担い手>

認定農業者を中心とする『産業の担い手』を7,595経営体育成する。

<地域の担い手>

機械利用組合や農作業受委託組織など、山間地域や担い手不在地域を支える組織を133組織育成する。

<経営耕地面積>

再生可能な耕作放棄地は解消を図り、条件整備を行ったうえで有効活用することで、平成37年の経営耕地面積37,800haを確保する。

林業

森林の持つ公益的機能を持続的に発揮しながら、木材生産を行う搬出間伐を中心に進めることにより、平成37年には資源を循環利用する森林60,000haの確保を目指すとともに、既存事業体の育成・強化や建設業等の新規参入などにより、森林の整備、木材生産に必要な林業専門作業員を400人確保する。

2. 農業構造の展望

	平成27年		平成37年	
経営耕地面積	32,500ha		37,800ha	
耕作放棄地	16,886ha (再生可能面積5,345ha)		0ha	
産業の担い手	8,076経営体	20,600ha	7,595経営体	30,400ha
	うち認定農業者	5,900戸 15,600ha	6,300戸	23,950ha
	集落営農組織	73組織 1,870ha	75組織	3,750ha
地域の担い手 (農作業受託組織等)	128組織 (H25年)		133組織 (H32年)	

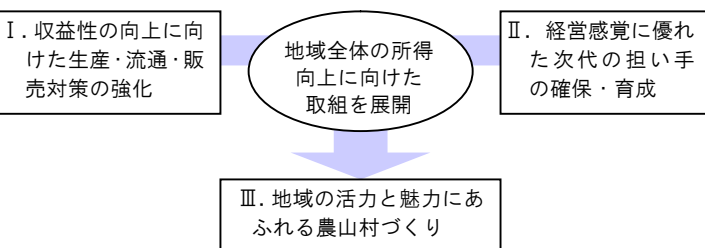
林業構造の展望

	平成27年	平成37年
整備された森林面積	49,500ha	60,000ha
素材生産量	100,000m ³	250,000m ³
林業専門作業員	350人	400人
木材生産性	2.8m ³ /人・日	5.0m ³ /人・日

3. 基本理念

「生産・流通・販売対策」を軸としたしっかり稼ぐ 仕組みを構築し、農林業・農山村全体の所得向上を図ることで、人を呼び込み地域がにぎわう社会の実現を目指します。

4. 展開方向



5. 施策の方向性

I 収益性の向上に向けた生産・流通・販売対策の強化

I-1 品目別戦略の再構築

●品目ごとに他県の優良事例やトップ産地の取組を分析し、収益を向上させるための戦略を再構築することで、全国トップクラスの産地を目指します。

I-2 品目別戦略を支える加工・流通・販売対策

●農産物のブランド化や輸出対策、効率的な集出荷体制の確立、6次産業化、農商工連携など、所得向上を図るための品目を横断する取組を強化します。

I-3 地域資源を活用した農山村地域の活性化

●地域資源を活かしたコミュニティビジネスの展開や、バイオマス利用の促進など、地域全体で稼ぐ仕組みを構築します。

II 経営感覚に優れた次代の担い手の確保・育成

II-1 新規就農者・就業者の増大

●新規担い手の確保に向けた受入団体等登録制度や新規参入にかかる初期投資の負担軽減など支援体制を強化します。

II-2 個別経営体の経営力強化

●雇用型農業を目指す所得1,000万以上規模の経営体の育成や法人化の推進や、集落営農組織の育成等を図ります。

II-3 担い手確保のための生産基盤の強化

●担い手の規模拡大や農業・農村全体の所得向上を進めていくため、基盤整備の推進による優良農地の確保と、再生可能な放棄地を条件整備したうえで有効活用を図ります。

II-4 地域を支える多様な担い手の確保・育成

●中山間地域等産地規模の拡大が難しい地域や担い手不在地域においては、集落等をサポートする機械利用組合など「多様な地域の担い手」の組織化、直売所を核とした少量多品目の産地化を図ります。

●6次産業化の規模拡大、観光分野等との連携による地域内流通の促進のためのネットワーク化やフードクラスターの構築など、稼ぐ力をつける取組を支援します。

III 地域の活力と魅力にあふれる農山村づくり

III-1 地域別・産地別の戦略の展開

●地域の実態に合わせた生産・流通・販売対策と担い手対策を組み合わせ、地域全体の所得を向上する取組を展開します。

III-2 農林業・農山村の暮らしを支える環境整備

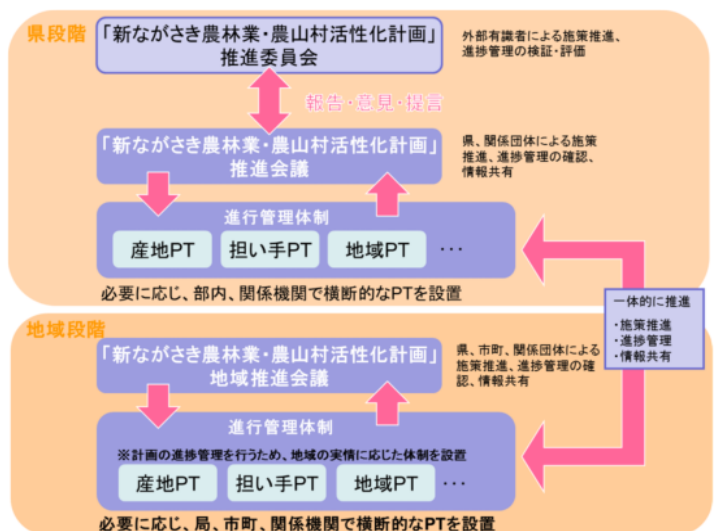
●農山村地域の多面的機能の維持や、鳥獣被害の防止、防災対策等を推進します。

6. 地域別振興方策

県下6地域の特色ある振興策を盛り込み、各地域の農林業・農山村の将来像を描いた地域別振興方策に加え、具体的な地域別・産地別の戦略の展開を策定。

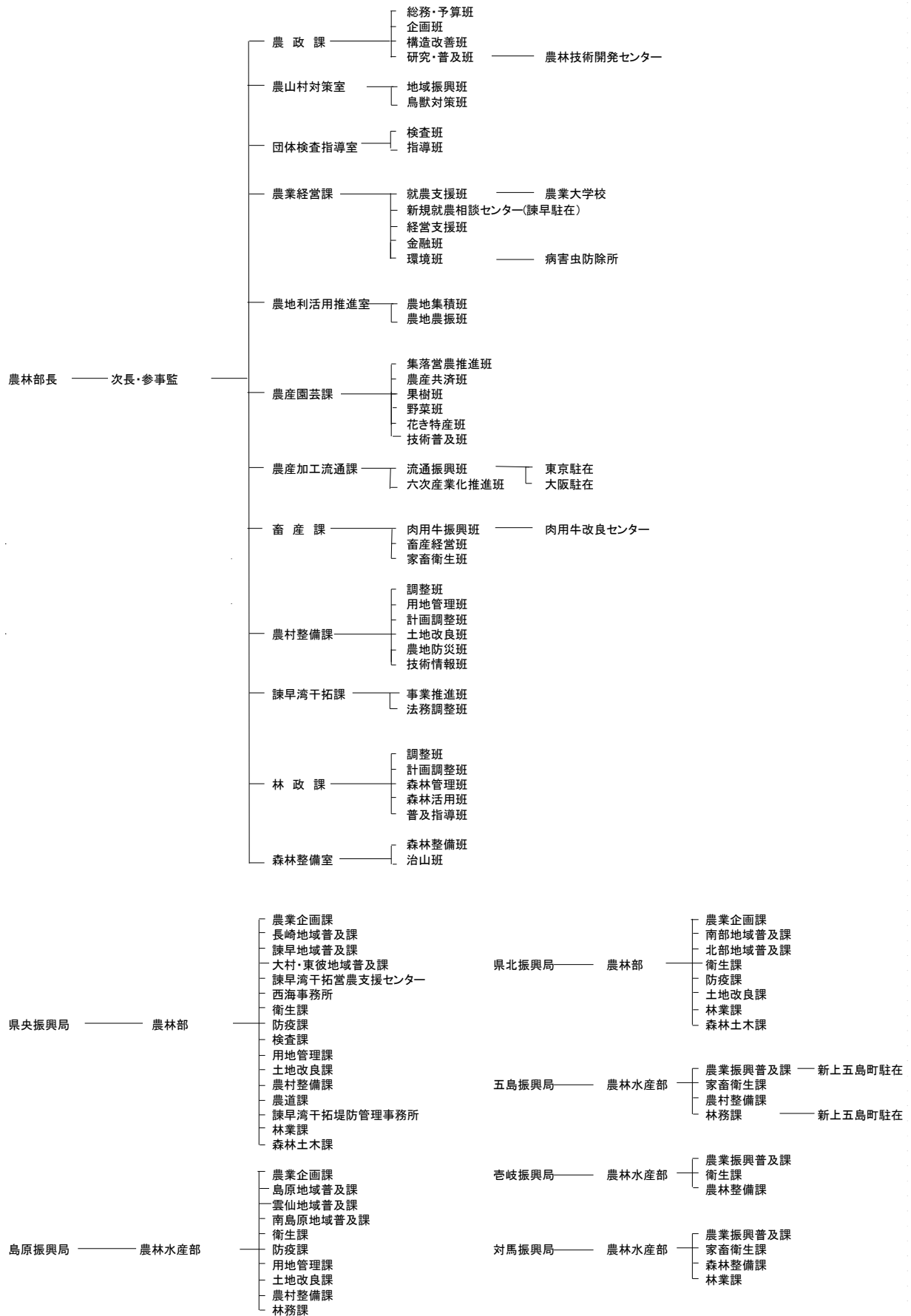
7. 新活性化計画推進体制

「新ながさき農林業・農山村活性化計画」推進体制



5. 農林関係行政機構図 (平成31年4月1日現在)

農林関係行政機構図 (平成31年4月1日現在)

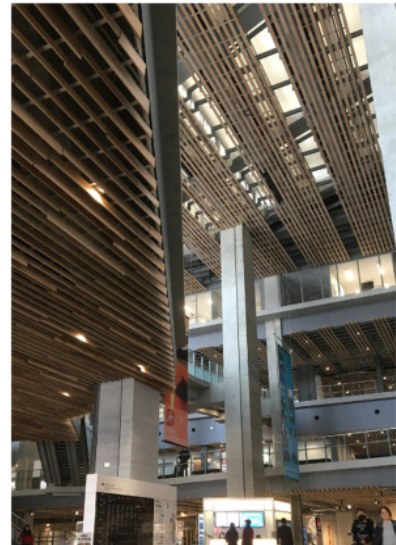


農林部地方機関等所在地

農林部地方機関等所在地

(平成31年4月現在)

長 崎 県 庁	850-8570	長崎市尾上町3-1	095-824-1111 (代)
県 央 振 興 局 農 林 部	854-0071	諫早市永昌東町25-8	0957-22-0010 (代)
諫早湾干拓営農支援センター	854-0038	諫早市中央干拓131	0957-35-4344
西海事務所	851-3305	西海市西彼町喰場郷1686-3	0959-27-1821
衛生課・防疫課・検査課	854-0063	諫早市貝津町3118	0957-25-1331
諫早湾干拓堤防管理事務所	859-0146	諫早市高来町金崎字浜ノ道149-6	0957-27-7045
島 原 振 興 局 農 林 水 産 部	855-8501	島原市城内1-1205	0957-63-0111 (代)
農業企画課・島原地域普及課	855-0835	島原市西八幡町8509-2	0957-63-0462・62-3610
雲仙地域普及課・南島原地域普及課			
衛生課・防疫課	859-1415	島原市有明町大三東戊908-1	0957-68-1177・1178
県 北 振 興 局 農 林 部	857-8502	佐世保市木場田町3-25	0956-23-4211 (代)
農業企画課・南部地域普及課・北部地域普及課	859-6325	佐世保市吉井町大渡80	0956-41-2033
衛生課・防疫課	858-0911	佐世保市竹辺町92	0956-48-3831
五 島 振 興 局 農 林 水 産 部	853-8502	五島市福江町7-1 五島市役所2階	0959-72-2121 (代)
農業振興普及課新上五島町駐在	857-4404	南松浦郡新上五島町青方郷1554-3	0959-52-8175
家畜衛生課	853-0031	五島市吉久木町725-3	0959-72-3379
林務課新上五島町駐在	857-4404	南松浦郡新上五島町青方郷1554-3	0959-52-4650
吉 岐 振 興 局 農 林 水 産 部	811-5133	吉岐市郷ノ浦町本村触570	0920-47-1111 (代)
農業振興普及課	811-5732	吉岐市芦辺町国分東触678-7	0920-45-3038
衛生課	811-5734	吉岐市芦辺町国分本村触1385-1	0920-45-3031
農林整備課	811-5215	吉岐市石田町石田西触1290 吉岐市役所石田庁舎2階	0920-48-5211
対 馬 振 興 局 農 林 水 産 部	817-8520	対馬市厳原町宮谷224	0920-52-1311 (代)
家畜衛生課	817-0322	対馬市美津島町鶏知乙110-4	0920-54-2179
森林整備課	817-8510	対馬市厳原町国分1441 対馬市役所本庁舎	0920-52-5474
林業課	817-8510	対馬市厳原町国分1441 対馬市役所本庁舎	0920-52-0318
農 林 技 術 開 発 セ ン タ ー	854-0063	諫早市貝津町3118	0957-26-3330 (代)
干拓営農研究部門	854-0038	諫早市中央干拓131	0957-35-1272
農産園芸研究部門馬鈴薯研究室	854-0302	雲仙市愛野町乙2777	0957-36-0043
果樹・茶研究部門	856-0021	大村市鬼橋町1370	0957-55-8740・7904
果樹・茶研究部門茶業研究室	859-3801	東彼杵郡東彼杵町中尾郷1414	0957-46-0033
畜産研究部門	859-1404	島原市有明町湯江丁3600	0957-68-1135~1137
農 業 大 学 校	854-0062	諫早市小船越町3171	0957-26-1016
(畜 産 学 科)	859-1404	島原市有明町湯江丁3600	0957-68-1500
病 害 虫 防 除 所	854-0062	諫早市小船越町3170	0957-26-0027
肉 用 牛 改 良 セ ン タ ー	859-4824	平戸市田平町小手田免19	0950-57-1684
長 崎 県 新 規 就 農 相 談 セ ン タ ー	854-0062	諫早市小船越町3171	0957-25-0031



県産材を利用した長崎県庁新庁舎



長崎県ブランド農産加工品認証制度「長崎四季畑」【平成30年度新規認定商品】



©長崎県ホームページ <https://www.pref.nagasaki.jp/>

表紙：基盤整備地を中心に産地拡大が進むブロッコリー